

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公 開 特 許 公 報(A)

(11)特許出願公開番号
特開2023-33759
(P2023-33759A)

(43)公開日 令和5年3月13日(2023. 3. 13)

(51)Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
C 0 8 J 3/12 (2006. 01)	C 0 8 J 3/12 Z C E Z	2 K 1 0 1
G 0 2 F 1/15 (2019. 01)	G 0 2 F 1/15 5 0 8	4 C 0 5 5
C 0 8 G 77/26 (2006. 01)	C 0 8 G 77/26	4 F 0 7 0
C 0 8 J 3/215 (2006. 01)	C 0 8 J 3/215	4 J 2 4 6
C 0 9 K 9/02 (2006. 01)	C 0 9 K 9/02 A	
審査請求 未請求 請求項の数 18 O L (全 37 頁) 最終頁に続く		

(21)出願番号 特願2021-139638(P2021-139638)
(22)出願日 令和3年8月30日(2021. 8. 30)

特許法第30条第2項適用申請有り (1) 2021年3月4日公開 日本化学会 第101春季年会(2021) 講演予稿集 <https://confit.atlas.jp/guide/event/cs101st/proceedings/list> (2) 2021年3月19日~22日開催 公益社団法人日本化学会主催 日本化学会 第101春季年会(2021)

(71)出願人 301023238
国立研究開発法人物質・材料研究機構
茨城県つくば市千現一丁目2番地1
(72)発明者 藤井 和子
茨城県つくば市千現一丁目2番地1 国立研究開発法人物質・材料研究機構内
(72)発明者 ベラ マナス クマール
茨城県つくば市千現一丁目2番地1 国立研究開発法人物質・材料研究機構内
(72)発明者 樋口 昌芳
茨城県つくば市千現一丁目2番地1 国立研究開発法人物質・材料研究機構内

最終頁に続く

(54)【発明の名称】複合粒子、その製造方法、および、それを用いたエレクトロクロミックデバイス

(57)【要約】

【課題】 エレクトロクロミックデバイスのメモリ特性を改善するメタロ超分子ポリマーを用いた複合粒子、その製造方法、および、それを用いたエレクトロクロミックデバイスを提供すること。

【解決手段】 本発明の複合粒子は、層間に有機基および金属粒子を有する層状ケイ酸化合物からなる層状無機-有機共有結合体の粒子と、粒子を被覆するメタロ超分子ポリマーを含有し、有機基は、X1-L1で表され、X1は、複素環基、アミン基、アミド基、チオエーテル基、スルホン基、ニトロ基、カルボキシル基、直鎖状または分岐状のアルキル基、直鎖状または分岐状のアルキルアミン基、直鎖状または分岐状の第四級アルキルアンモニウム基、第四級アリアルアンモニウム基、クマリンおよびこれらの誘導体からなる群から選択される官能基であり、L1は、2価の基であり、メタロ超分子ポリマーは、有機配位子および有機配位子に配位された金属イオンを含む。

【選択図】 図1

